

大賣出し

銘仙 五圓五十錢ヨリ
 其他 モスリソン着尺

御祝儀物數々
 尚ほ 福助足袋製
 今回特に當地代理
 店と對抗し皆々様
 の御便宜に供し申候
 世界に冠たる優良品を多量
 に製産する 福助足袋
 會社製品

黒朱子 四十七錢
 白キヤラコ 三十五錢
 絹天足袋 四十七錢
 半町三丁目
中野吳服店
 (電話六十七番)

揃ひました

いろいろな
 新形洋服が
 値段は昨年より二割安
 立襟上下 拾圓ヨリ
 脊廣三組 十三圓五十
 錢ヨリ
 オーパー 六七圓位ヨ
 其他變つた新形洋服を澤山
 取揃ひてあります

十字屋洋服店
 平町停車場前通り

飲むにすぐキク
クノ一散
 齒痛、神経痛、頭痛の特効薬
 平町各薬店に販賣す
 試みられよ

内科。外科。婦人科。
 小兒科。花柳病科。

磐城病院
 平町田町本通り
 入院隨時 (電話二一四番)

名特 入提 拭手 供
吉田屋 染工場
 福島縣平町五丁目
 (電話五五八番)
 (振替仙台五三二八番)

徒弟入用 一三四歳位ノ者四五名

た待かねの特製
生菜子
 イヨく本日より發
 賣致します

又た祝折詰物
 大勉強致します

外に永野特製パン日躍日毎
 に二割引是非御来店を乞ふ

永野キヤンデー
 ーストア
 平町二丁目 電話七五五番

坊ちゃん嬢ちゃんの
 御好の品を陳列しました

毛糸マンント
 毛糸服下着
 毛糸チヨッキ
 毛糸シヤツ
 毛糸股引
 ラシヤ服新形
 毛糸メリヤス
 アンダーシヤツ

ツルヤ
 平町四丁目
 電話百四十

十一月二十四日より三十日まで……七日間
 利益を度外視した奉仕的廉賣!!!
 この機を逸せず是非御来店の程を……

特別の品價部

△最中	十個	十錢
△ドーナツ	四個	十錢
△ビスケット	百個	十六錢
△衣パン	同	二十錢
△佐久門ドロ	同	三十四錢
△福袋	一袋	三十錢

平町四丁目
マツモトヤ
 電話二一四番

天與之美音を以て眞の藝術に生きたる實師は斯界の明星として師獨特の讀物は各地共に湧くが如き大入氣賞賛行る大天才家たり。今般滿鮮地方巡業中の處御當地愛浪家諸彦の熱誠なる懇望に據り初御目見得特別大興行好期開きもしなく是非御來聴あらんことを希ふ。

關東隨一浪曲界の大立物
 美音 **篠田實師一行** 出演
 隨一 蓄音機レコードにてお馴み深き
 座長得意ノ讀物 蓄音機レコードにてお馴み深き

紺屋高尾 長講二席
 當ル十二月三日四日限リ午後五時開演(合袍合圖)
 入場料……特等 壹圓 八拾錢 平町 **平劇場**

賣れ行きが事實を證明する
 品質聲價共に拔群の!!

磐城セメント

警城セメント會社特約店
 和洋銅鐵 **釜屋商店**
 金物問屋 警城中町五丁目 電話九番 一三九番

▽良品廉賣は勝る商畧なし△
 △確實敏捷は釜屋の生命なり△

常盤新聞

定部金貳錢 廣五部十二 休日増大發
 一ヶ月卅錢 廣五部十二 休日増大發
 一ヶ月卅錢 廣五部十二 休日増大發

日刊 發行兼編輯人 川崎文治 本社下町番地(電話六三〇番)
 印刷所 常盤毎日新聞社 電話六三〇番

十一月二十八日夕刊

常盤論壇

景氣の根柢 (17)

濟學經博士太田正孝氏述

二十四億圓の輸入があつたのであります。二十四億圓の物を買ふ譯ではありませぬ。假りに二割日本の金が下つて爲替相場が下つたと致しますれば、二十億圓の物を買つて二割下つただけ餘計金を拂はなければならぬ。即ち四億圓だけ日本爲替相場が下つた爲に只附けてやつた金になる譯であります。だから經濟國難に到れりでありませぬ。其の時に二割下つたと云ふことは外國に對して二割下つたと

お思ひになるか知りませぬが、皆さん持つて居られる十圓紙幣を見ると、此の券引換に何時にも金貨を差上げる日本銀行總裁として判が押しであります。皆さん方は日本銀行に置いた金を頼りにして日本銀行を信用して居ればこそお札も信用して居るのである。さうでなければあんなもの汁臭くて何處の太郎兵衛が持つたか分らない、何處の淫賣婦が持つたか分らないと云ふ金を持つて居れやしない日本銀行に本當の現ナマの金と云ふものがあるから、お互に信用して使つて居るのである。だから外國との

間の金の値段に於ては二割下つたと云ふ事は、詰る所爲替相場が下つたことはお互の持つて居る金の値が下つて、お互の持つて居る札にも應て同じやうに響いて來ると思ふのであります併し是は學者の説であるから事實は半年位遅れて來るのであります。外國に對して金の値打が二割下つたと云ふ事は、お互の持つて居る懐が二割下ると云ふことと、さう云ふ風に響くのであります。例へば金を十圓持つてゐても十圓の値打は二割下つた値打しかない

(つづく)

警城共濟病院の賣り込みの運動

色氣を見せた大原一氏

而し氣受けが面倒

警城共濟病院は賀澤氏の献身的な努力も効なく經營難は益々深刻になる計りで今では平町の藥種屋が一軒を恐れ薬を入れないと傳へられる程の全く氣の毒な苦境に陥つた其處で是れでは遣り切れぬと此頃持ち上つたのが福島市大原病院への賣り込み説である此話を持ち込まれて初めはウンと首を縦に振らなかつた院長大原一氏も再三再四の

石城郡人口

内閣統計局調査

十九萬九千九百
内閣統計局で推計した本年十月一日現在に於ける石城

子鉄倉神社の櫻花咲き亂る

縣社子鉄倉神社境内の彼岸櫻一本、どうした陽氣の加減か二三日前から一時に咲き亂れ目下満開の態、山部神官も實に珍らし事だと驚いて居る

現在の姿と別段に

變る所がなく一般の氣受けがどう云ふものか……と大分大原氏の爲めに案じて居た人もある

四丁目青年

團旗樹立式

子鉄倉社前に
平町四丁目青年分團にては昨日正午より縣社子鉄倉神

清興を樂しんだと

營林直通電話

林署より小川出張所に至る直通電話は廿六日より敷設工事に着手したと

帝展……

入選を祝賀

本多氏の爲め

既報彫刻「夜陰」を帝展に出品して見事入選した平町八幡小路本多朝忠氏の爲め小學校時代の同窓生相寄り祝賀會を催すべく準備中である

斷末魔の幼兒を

背負ふて漂泊ふ

女房に別れた不運な男

平署に救へを求む

茨城縣日立町滑川遠藤平助(四三)は本年二月妻ヤヌ(三〇)と別れたが二才になる長男織を養育せねばならぬ爲め石城地方の

炭坑に

住込まんと織を背負ひ立廻つて来たが話に聞くよりの不況と乳呑子がある事と何處にも働き場所がなく又しても實家

樂しき追憶

女學校同窓會

現在の縣立警城高等女學校の前身たる警城女學校卒業者卅餘名は昨日午前十時から山崎合名營業所樓上に參集同窓會を催し過ぎし日の學窓生活の追憶談を交し隠し藝の披露等あつて一日の



頭髮の手入

小學校に出てゐる位の女兒には少し不注意だと毛じらみがたかりやすく三四年生には二割位ある場合があり

入營軍人教育

平軍人分會にて

平在郷軍人分會にては來月一日から三日間平第一小學校に於て毎日午前八時より午後三時迄入營軍人に豫備教育を施す由

毛糸編物講習

平町鍛冶町阿部裁縫女塾にては時節柄毛糸編物講習を開催中である

内郷消防點檢

石城郡内郷村消防組にては昨日秋季檢閲を執行した

兔の耳

一躍金持村となる和歌山縣那賀郡長田村は米麥による外収入なく村經濟が漸々疲弊して來るので村當局は村民に副業として養蠶を奨励し桑苗木生産販賣組合を設立したまた果樹の桃葡萄の栽培に力を入れた結果桃葡萄は近時同村の特産物となり村經濟も遂次豊になり現に本月十日の同村産

募集

文藝其他投稿を募集します
業組合の信用部に於ける村民の貯金高は二十九萬三千三百七十圓七十八錢に上つてゐる

栗山師轉住

禪學會終講

平町胡摩澤長源寺住職栗山泰音師は靈釜へ轉住する事となつた爲め同師の講演を傾聴して居た平禪學會は廿八日午後六時半より警城銀行樓上にて最後の例會を開き終つて茶話會を開くと

谷川瀨改修

努力を提供

石城郡飯野村大字上荒川佐藤専次郎氏は同村下荒川の

赤十字特別社員

平町藤沼平次郎、高久忠、渡邊則成、五十嵐小平、小野常治の諸氏は赤十字事業に賛同し今回各金二百圓を寄附したので不日特別社員に推薦せられる筈

所在が不明

八方照會中

平町鎌田町松澤弘(三〇)は本年度入營の壯丁であるが居住が不明の爲め八方照會中である

植田警察署の改築の氣迫る

古川鷲兩氏に囑望

植田警察署は明治二十一年九月建設されたもので縣下の古い建物であるが縣境に位する關係上茨城縣との交渉頻繁を極め且附近炭礦の發展と共に事件は、ますます増一方にて濱通りにては平署に次ぐに至り廳舎狹隘を告げ數年來改築の必要にせまられてゐるが、今年は特に植田町より政友會の古川傳一氏民政黨の鷲清昇氏の二縣會議員が選出されてゐるので地方氏は兩氏の

基礎を確立

夫れには是非

平商業學校の卒業生により組織されてゐる商友會では既に卒業生五百名を出し之等の會員により現在二千圓の會の基本金を有してゐるが其基本金より生れる利子